

図書館バッグ講座

【内容・狙い】

市立図書館・市内の民間企業・専門人材が連携した、アップサイクル・ワークショップ。廃棄される壁紙の端材を活用し、市立図書館で借りた本を持ち運ぶ図書館バッグを製作する。身近な資材のアップサイクルを通じ、環境問題や地域産業への関心を高める契機とし、また、講座参加をきっかけに、今後の継続的な図書館利用に繋げる啓発とする。

【参加者の声】

参加者の満足度は高く、アンケートでは86%が「満足」「やや満足」と回答した。企業による環境解説に好意的な反響が多かった。「手を動かして作るのが楽しい」「また物作りの講座に参加したい」「友達にも紹介したい」という声が多数あり、中には「自分も講師をやってみたい」という参画意欲も見られた。

【成果と課題】

好みのデザインの壁紙を選んで、参加者全員がオリジナル図書館バッグを完成させた。参加者の図書館利用頻度は「月1回」が最多だったが、初めて来館した人や普段は公民館図書室を利用している人の参加もあり、利用促進の良い機会となった。図書館では全年齢対象に応じた幅広いテーマでの講座を複数開催しており、同内容の継続開催が難しいことが課題である。

第8回ちば講座アワード事例調書

成田市立図書館

